

インド北部山岳州における山地災害対策プロジェクトで ダブルウォールの技術協力



インドDWプロジェクト

「ウッタラカンド州山地災害対策プロジェクト」

現在、インドで弊社が行っているダブルウォールの技術協力事業についてご紹介します。



2013年6月にインド・ウッタラカンド州の山岳地域では大規模な洪水と土砂崩れが発生し、4,200以上の村が被災、6,000人以上の方が亡くなる未曾有の山地災害となりました。



同州の森林地域の斜面对策として、日本の治山技術を用いた山地災害対策を実施し、インド・ヒマラヤ地域の他州において治山の知識・技術が普及されることを目指し、ウッタラカンド政府とJICA（日本国際協力機構）は覚書を結び、2017年3月から技術協力プロジェクト「ウッタラカンド州山地災害対策プロジェクト」が始まりました。

弊社は、JICAより協力依頼を受け、ニルカド地区の治山ダム3基についてダブルウォールの設計、施工指導の技術協力をおこなっています。

現地の会社で資材を製作し、ようやく施工が開始されました。弊社から2名が現地で施工指導に参加しています。

